

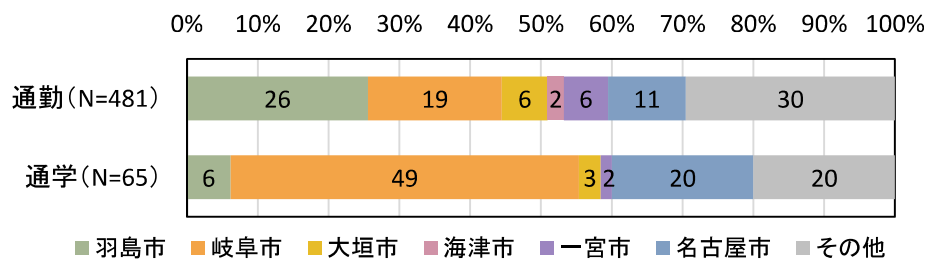
市民アンケート

- 調査目的 : 公共交通の利用状況、公共交通に対する意見や要望、日常生活での移動状況を把握
- 調査対象 : 15歳以上の羽島市民 2,500人（羽島市住民基本台帳から無作為抽出）
- 調査方法 : 郵送配布（令和6年5月22日(水)発送）・郵送回収（6月21日(金)締切）
- 目標回答数 : 1,000票（サンプリング誤差3%を確保するために必要なサンプル数）
- 有効回答数 : 1,341票 回答率 : 53.6%

日常生活での移動行動

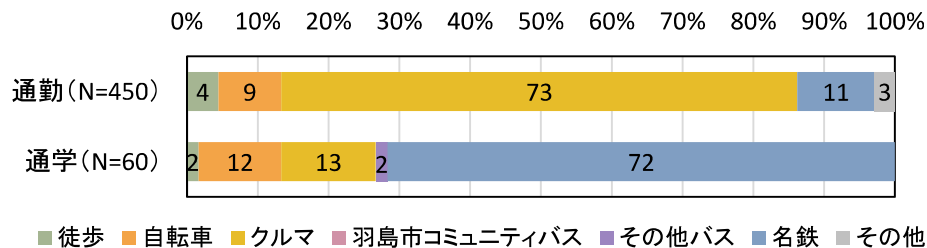
通勤・通学先

- ・通勤先は、羽島市内が26%と最も多く、市外では岐阜市が19%、名古屋市が11%と多い。
- ・通学先は、岐阜市が49%と最も多く、市外が94%を占めている。



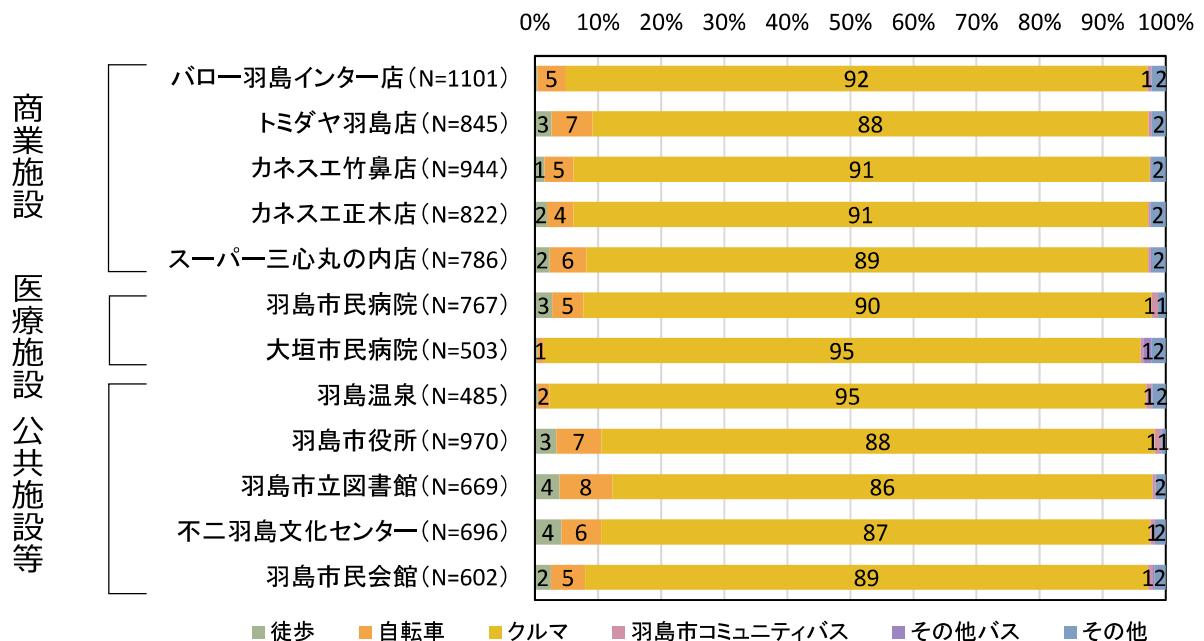
通勤・通学の移動手段

- ・通勤の移動手段は、クルマが73%を占め、次いで名鉄が11%となっている。
- ・通学の移動手段は、名鉄が72%と最も多く、次いでクルマが13%、自転車が12%となっている。



買い物・通院・公共施設の移動手段

- ・買い物・通院・公共施設の移動手段は、クルマが多くの割合を占めている。



目的地(施設)別の利用頻度

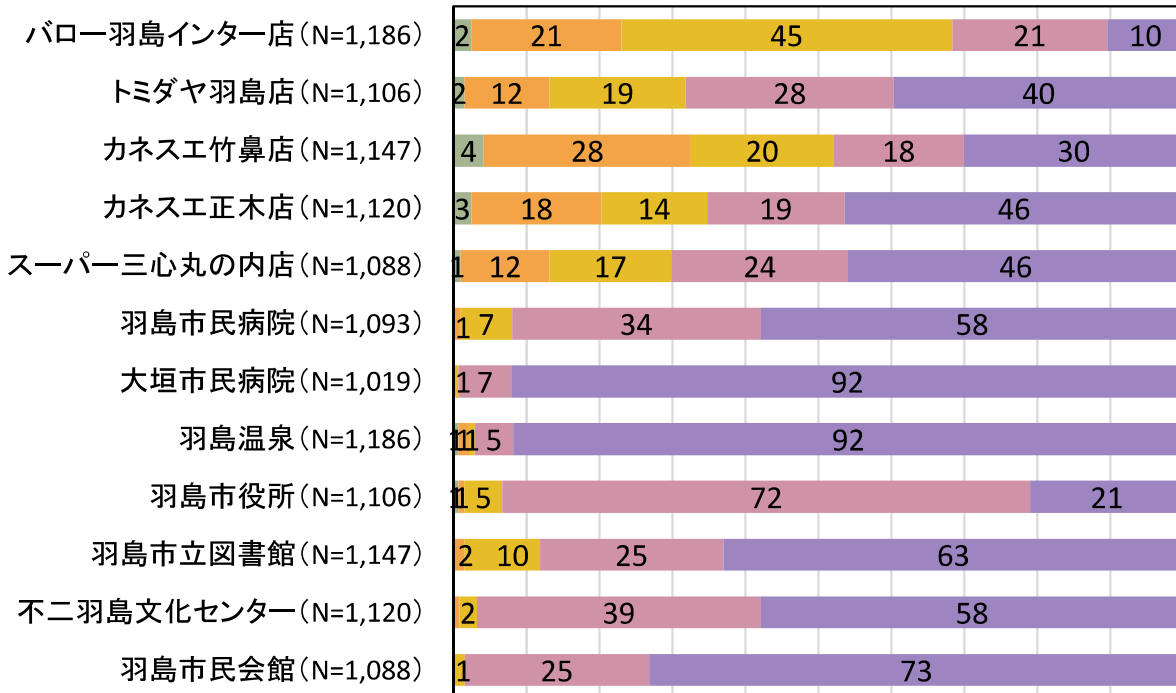
- ・商業施設は、医療施設や公共施設等と比べ利用頻度が高い傾向にある。

商業施設

医療施設

公共施設等

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

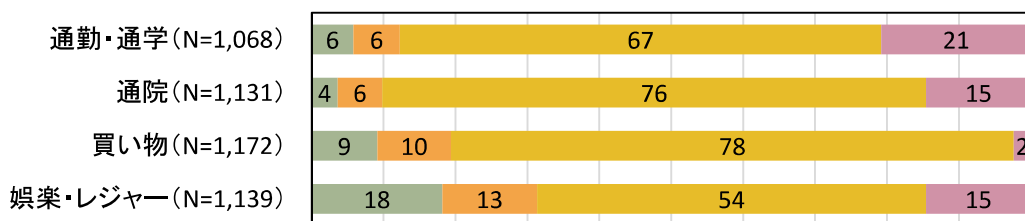


■ 週4日以上 ■ 週1~3日 ■ 月1~3日 ■ 年数回 ■ 利用していない

新型コロナによる外出頻度の変化

- ・新型コロナ前後の外出頻度の変化は、「変わらない」が多くの割合を占めている。
- ・娯楽・レジャーの外出頻度は他の目的と比較して「減った」の割合が高い。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

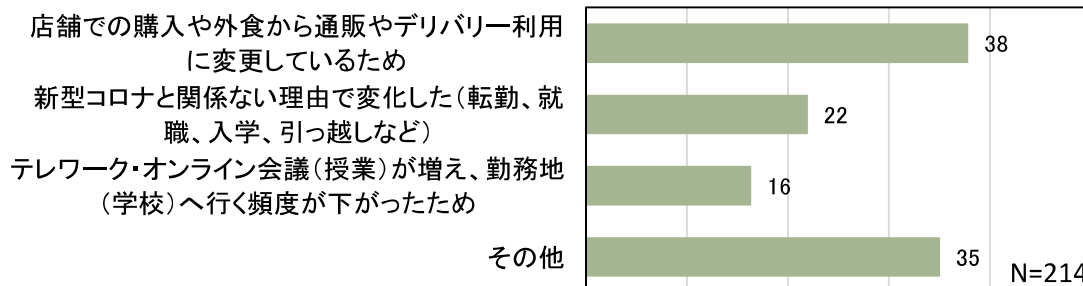


■ 減った ■ 増えた ■ 変わらない ■ 通勤・通学していない

外出頻度が減った理由

- ・「店舗での購入や外食から通販やデリバリー利用に変更しているため」が38%と最も多く、生活様式の変化に伴う回答が多い。

0% 10% 20% 30% 40% 50%

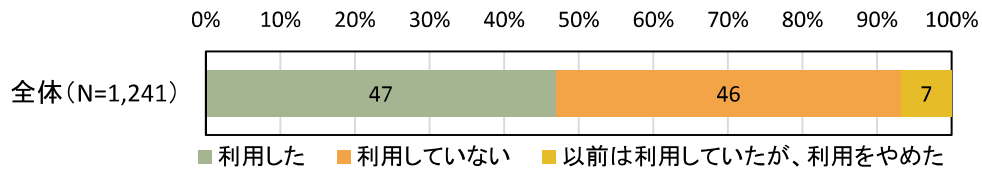


名鉄竹鼻線・羽島線

竹鼻線・羽島線の利用

この1年間で名鉄竹鼻線・羽島線を利用されましたか？

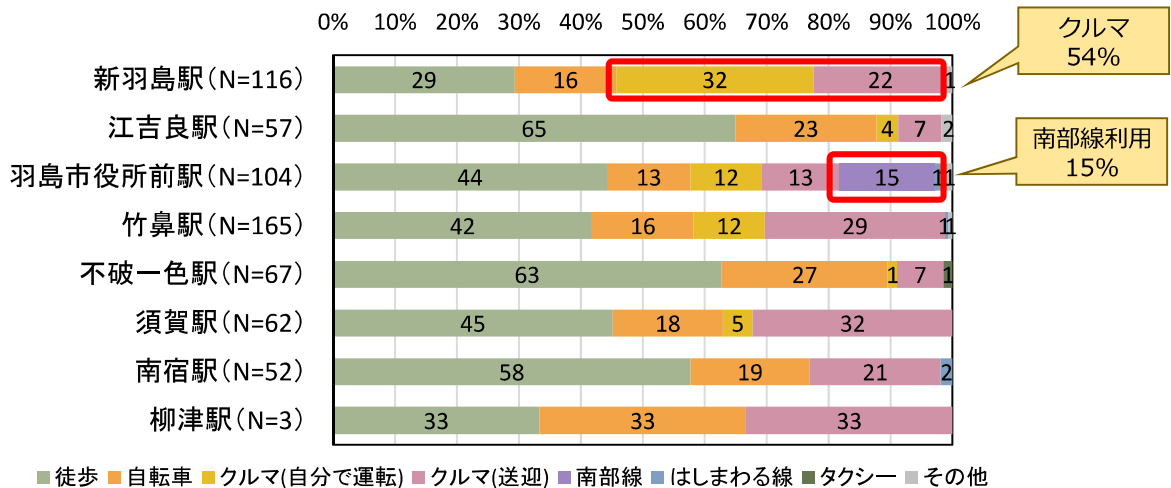
- ・「利用している」が47%、「利用していない」「以前は利用していたが利用をやめた」が合わせて53%であり、回答者の概ね半数が利用している。



名鉄竹鼻線・羽島線を利用された方

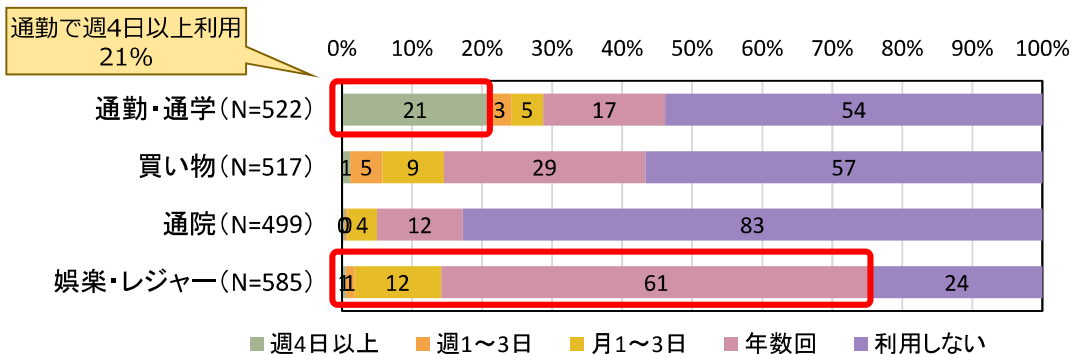
駅までの交通手段

- ・新羽島駅へはクルマを利用する人が多い。
- ・羽島市役所前駅は南部線の利用が15%と他の駅に比べ高い。



目的別の利用頻度

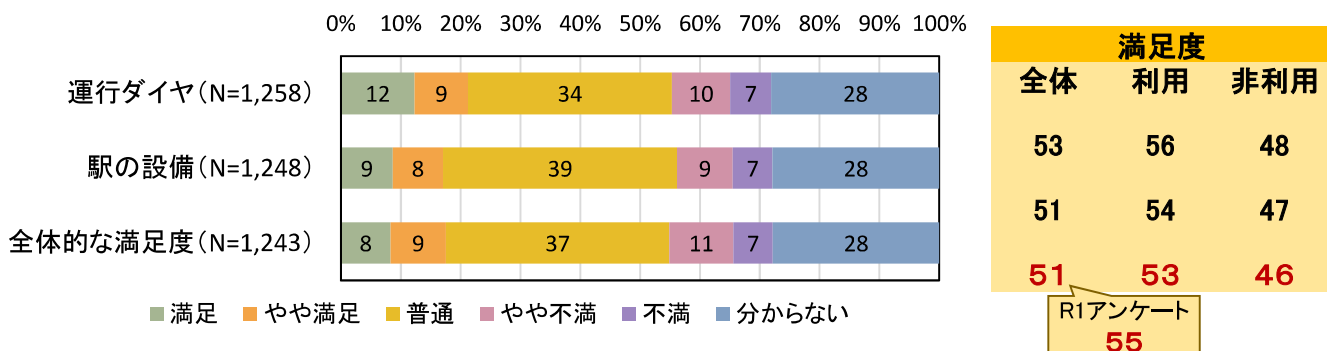
- ・目的別に見ると、通勤・通学では「週4日以上」の利用が21%と他の目的と比較して多い。
- ・娯楽・レジャーで年数回以上の利用が76%を占め、普段は使わない方でも一定の頻度で多くの市民に利用されている。



満足度

名鉄竹鼻線・羽島線の満足度をおしえてください。

- ・総合的な満足度は、全体で「51」であり、令和元年より「4」低くなっている。
- ・利用者・非利用者別にみると、利用者の満足度のほうが高い。



アンケート結果の票数に点数を乗じ、以下の計算式で算出

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	
アンケート結果の票数	A	B	C	D	E	
点数	4点	3点	2点	1点	0点	

$$\frac{(A \times 4) + (B \times 3) + (C \times 2) + (D \times 1) + (E \times 0)}{(A + B + C + D + E) \times 4} \times 100$$

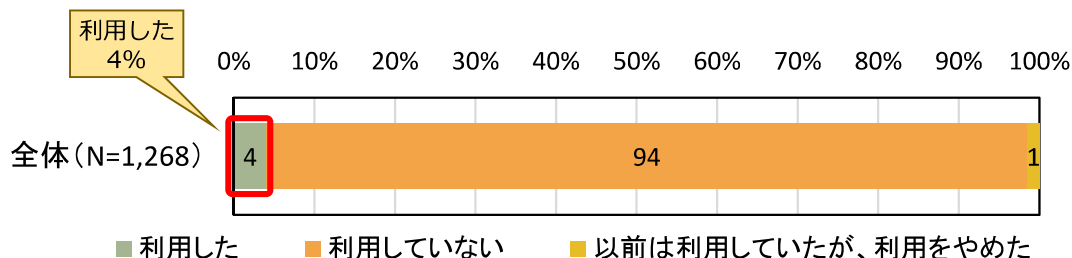
100に近いほど満足度が高く、0に近いほど満足度が低い

はしまわる線

はしまわる線の利用

この1年間ではしまわる線を利用されましたか？

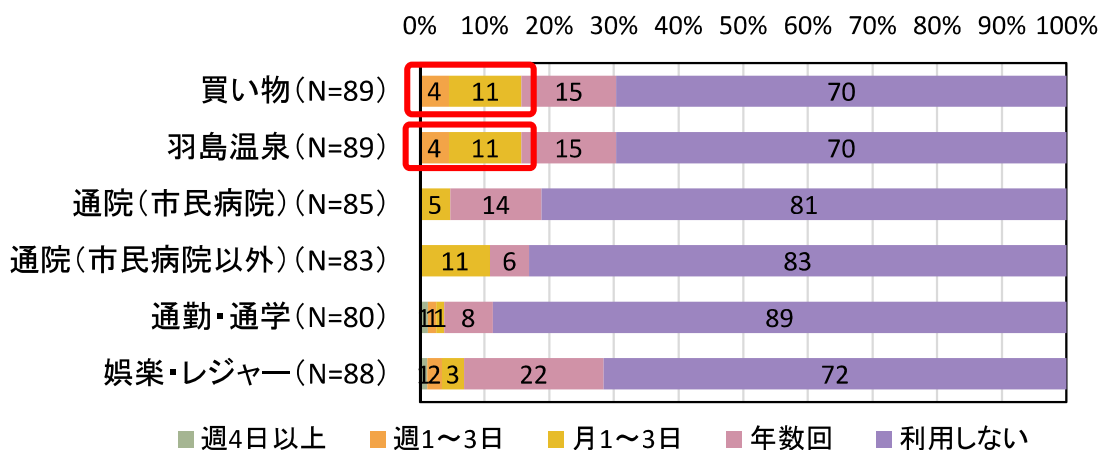
- ・「利用していない」「以前は利用していたが利用をやめた」が合わせて95%を占める。



はしまわる線を利用された方

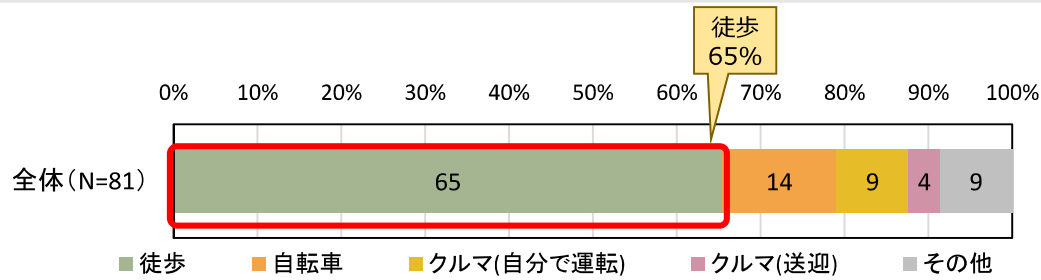
目的別の利用頻度

- ・買い物、羽島温泉での利用が多く、通勤・通学での利用は他の目的と比べて少ない。



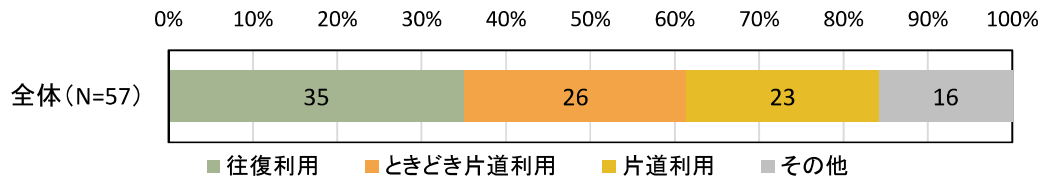
バス停までの交通手段

- ・「徒歩」が最も多く、全体の65%を占める。



往復利用

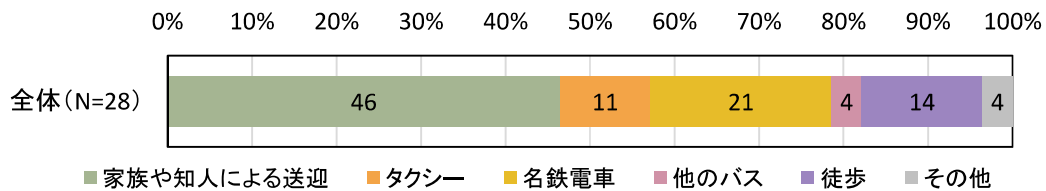
- ・往復利用が35%と最も多く、次いでときどき片道利用が26%、片道利用が23%である



片道利用の場合の交通手段

片道はどの交通手段を利用することが多いですか？

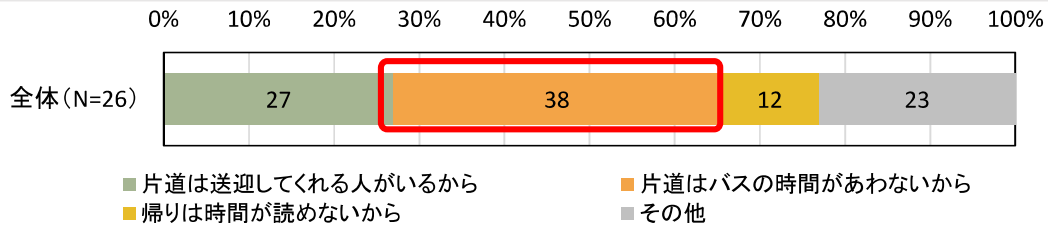
- ・家族や知人による送迎が46%と最も多く、次いで名鉄電車が21%、徒歩が14%である。



片道利用の理由

片道しか利用しない理由をおしえてください。

- ・「片道はバスの時間が合わないから」が38%と最も多く、次いで「片道は送迎してくれる人がいるから」が27%である。

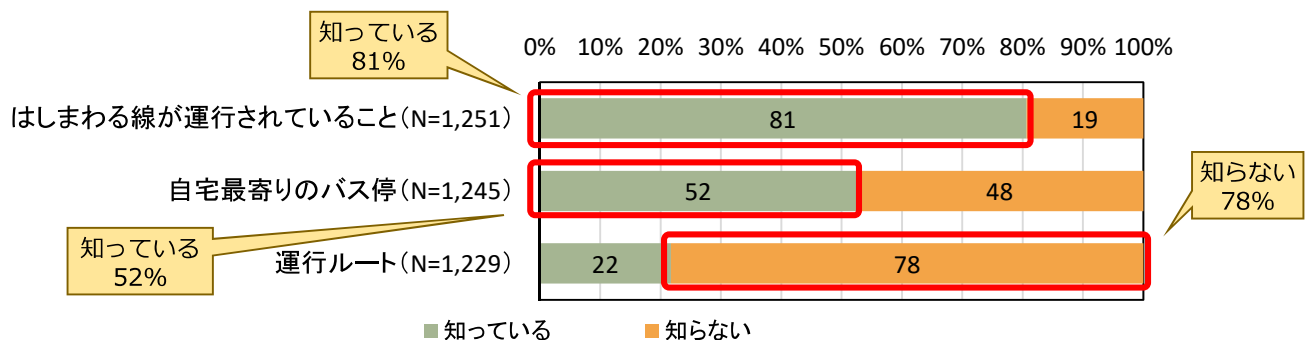


はしまわる線を利用していない方

はしまわる線の認知

はしまわる線の次の項目について知っていますか？

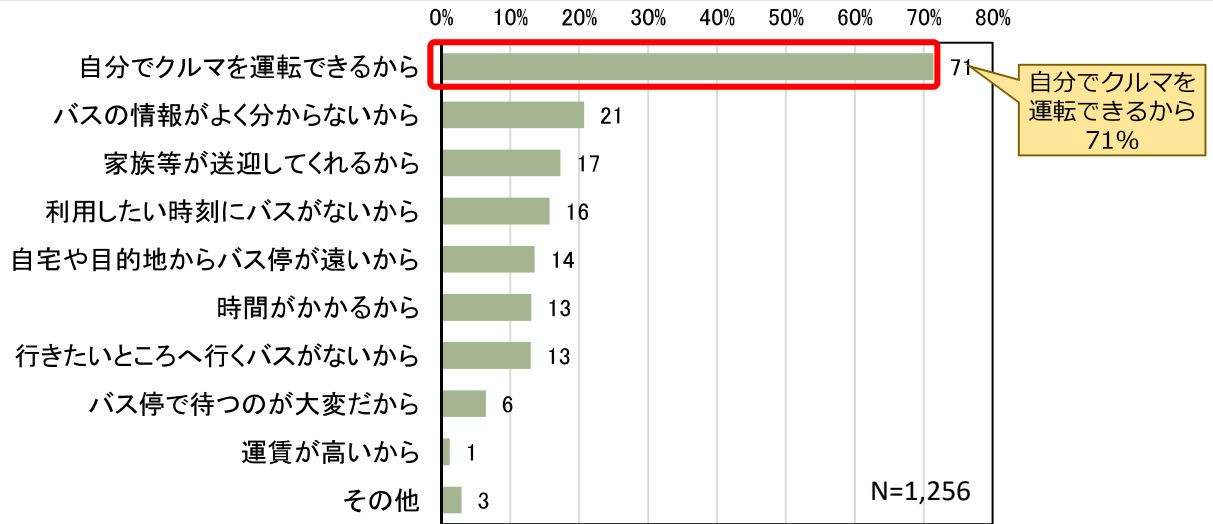
- ・「市内をはしまわる線が運行されていること」を「知っている」が81%を占める。「自宅最寄りのバス停」を「知っている」が52%で約半数である。「運行ルート」については「知らない」が78%と大部分を占める。



利用しない理由

はしまわる線を利用しない理由をおしえてください。（複数回答可）

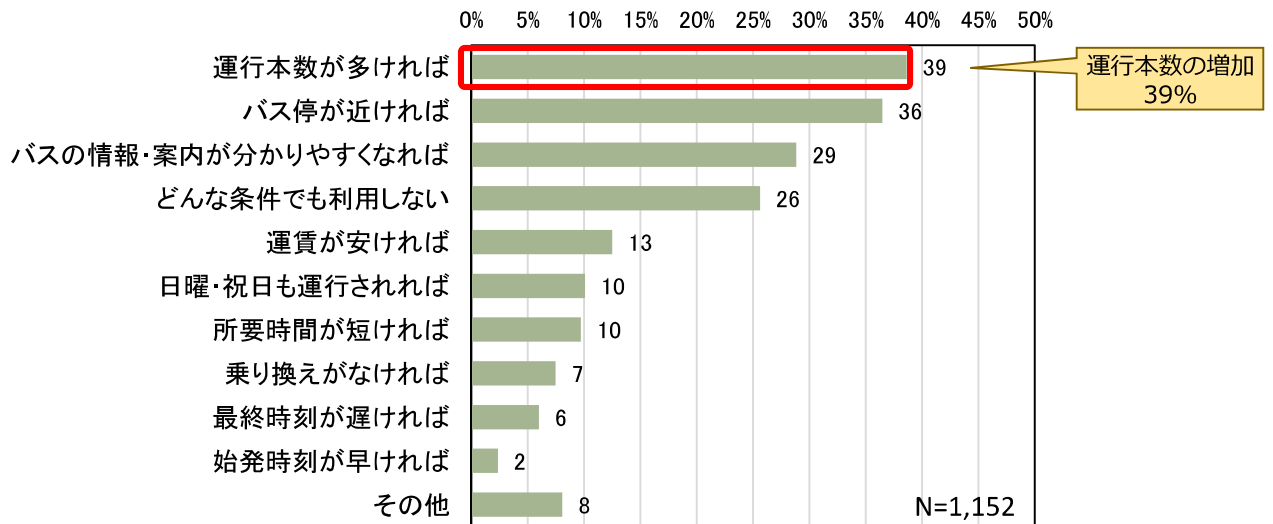
- ・「自分でクルマを運転できるから」が71%と突出して多い。



利用するための条件

条件がどのように変われば、はしまわる線を利用したいと思いますか？（複数回答可）

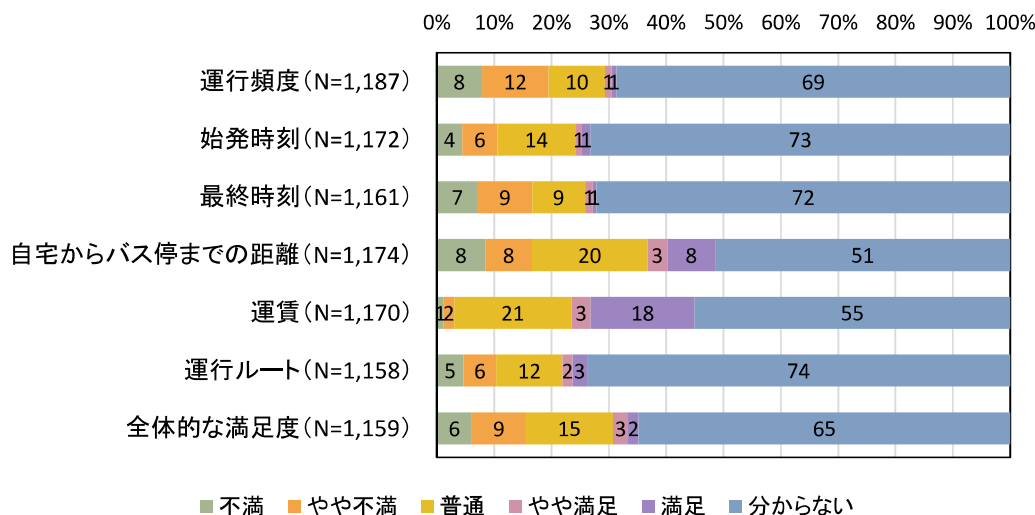
- ・「運行本数の増加」が39%と最も多く、次いで「バス停が近ければ」が36%、次いで「バスの情報・案内が分かりやすければ」が29%となっている。



満足度

はしまわる線の満足度をおしえてください。

- ・総合的な満足度は、全体で「39」であり、令和元年より「6」低くなっている。
- ・利用者・非利用者別にみると、利用者の満足度のほうが高い。
- ・項目別にみると、全体では「運賃」が72と他の項目と比較して高い一方、「運行頻度」は30と低い。



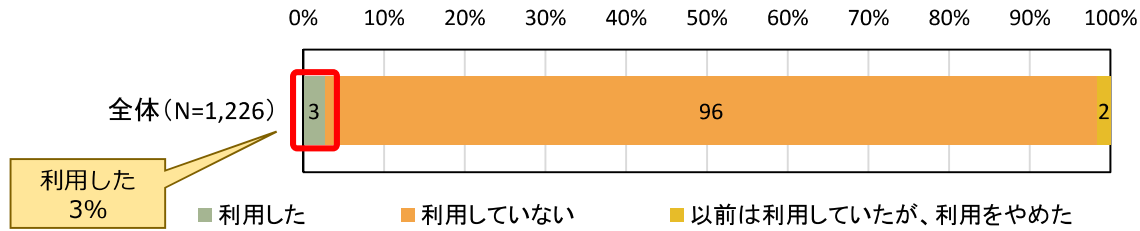
満足度		
全体	利用	非利用
30	33	29
40	43	39
31	39	30
48	59	46
70	85	68
42	58	39
39	48	38
R1アンケート 45		

※名鉄竹鼻線・羽島線の満足度と同様の計算式で算出

南部線

南部線の利用 この1年間で南部線を利用されましたか？

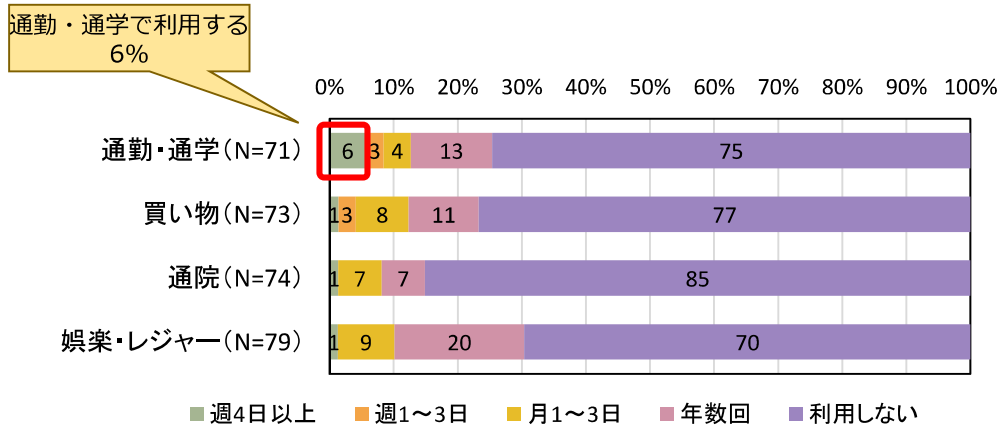
- 「利用していない」「以前は利用していたが利用をやめた」が合わせて98%を占める。



南部線を利用された方

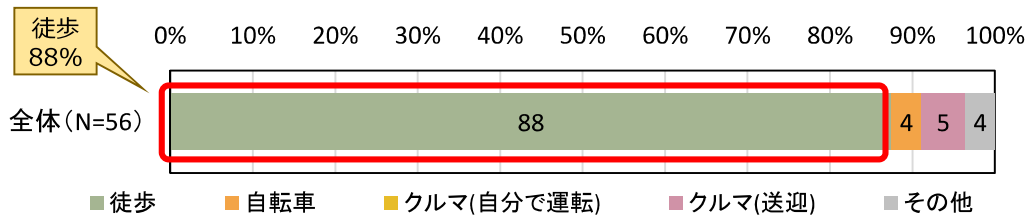
目的別の利用頻度

- 通学・通勤の利用頻度が他の目的と比較して高い。



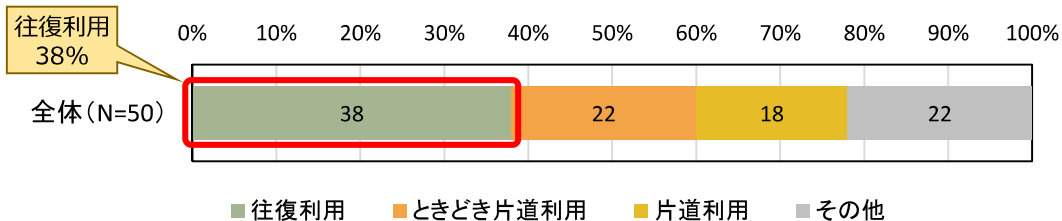
バス停までの交通手段

- 「徒歩」が88%と全体の大部分を占める。



往復利用

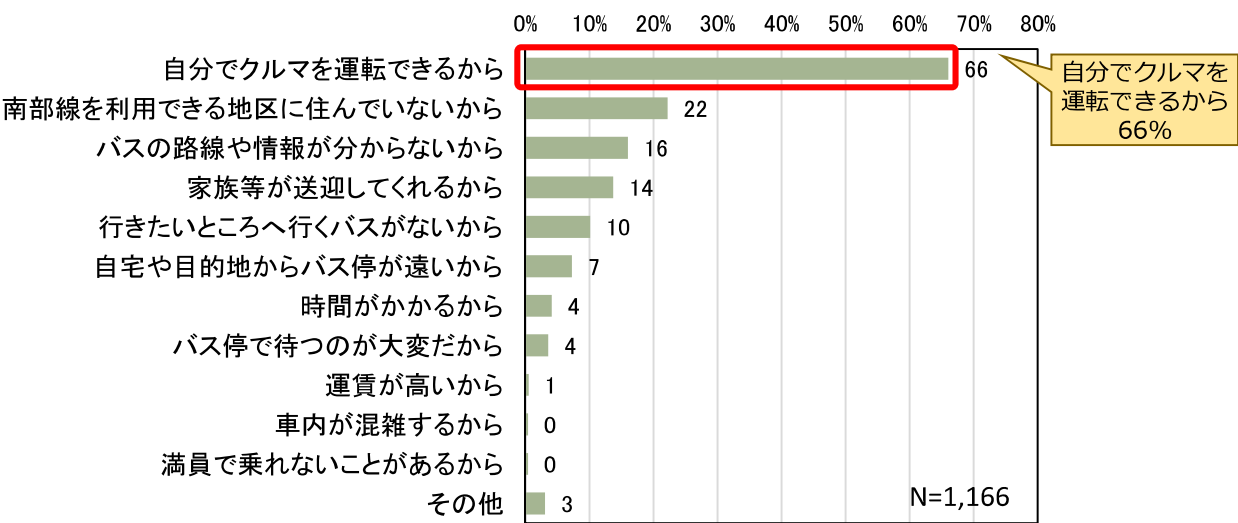
- 「往復で利用することがほとんど」が38%と最も多い。



南部線を利用していない方

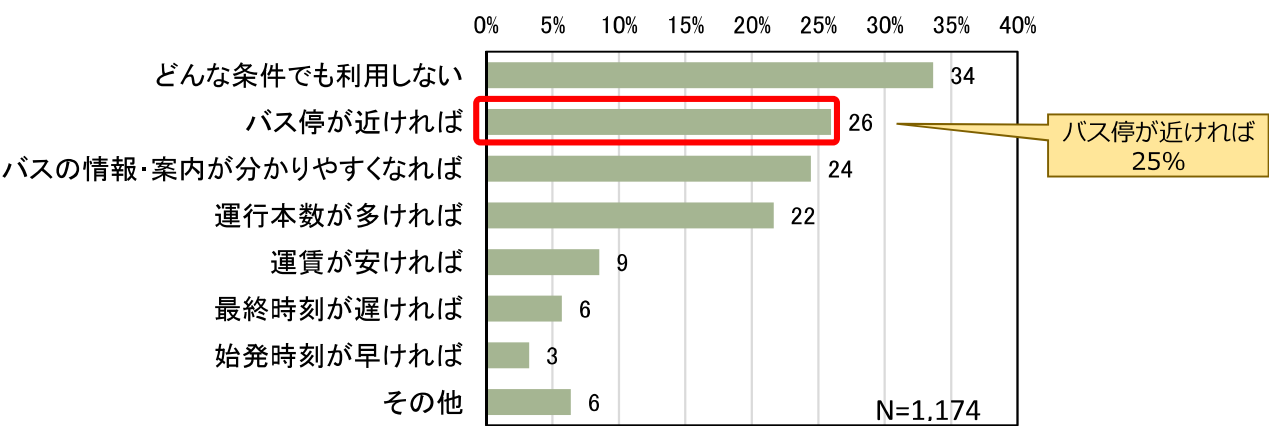
利用しない理由 南部線を利用しない理由をおしえてください。（複数回答可）

・「自分でクルマを運転できるから」が66%と突出して多い。



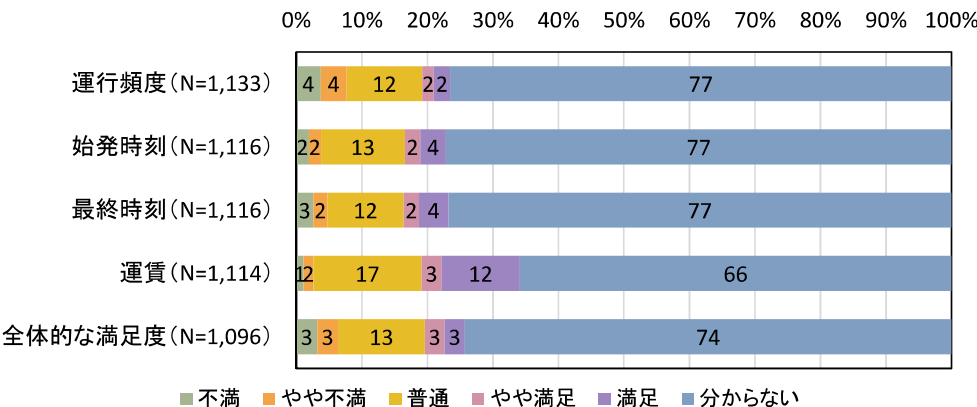
利用するための条件 条件がどのように変われば、南部線を利用したいと思いますか？（複数回答可）

・「どんな条件でも利用しない」が34%と最も多い一方、利用する条件としては、「バス停が近ければ」が26%、次いで「バスの情報・案内が分かりやすければ」が24%となっている。



満足度 南部線の満足度をおしえてください。

・総合的な満足度は、全体で「50」であり、令和元年より「3」低くなっている。
・「満足」「やや満足」は「運賃」が最も多く、合わせて15%である。



満足度		
全体	利用	非利用
45	43	45
55	60	54
54	49	55
67	77	66
50	53	49

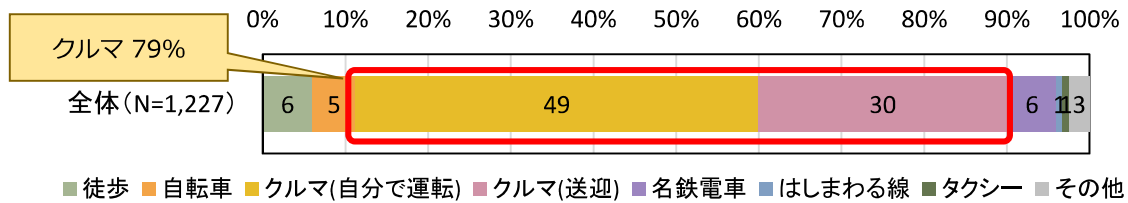
R1アンケート 53

※名鉄竹鼻線・羽島線の満足度と同様の計算式で算出

JR岐阜羽島駅

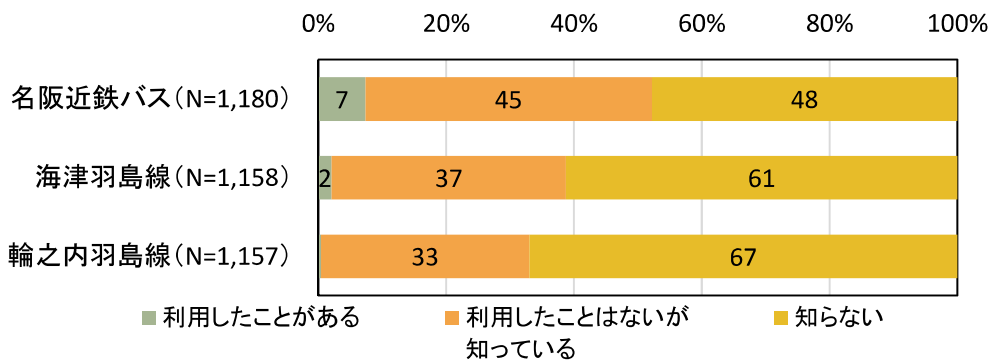
交通手段 自宅から岐阜羽島駅(新羽島駅)までよく利用する交通手段をおしえてください。

- ・「クルマ(運転)」が49%、「クルマ(送迎)」が30%であり、クルマの利用が79%占めている。



岐阜羽島駅の公共交通 岐阜羽島駅からバスが運行されていることを知っていますか？

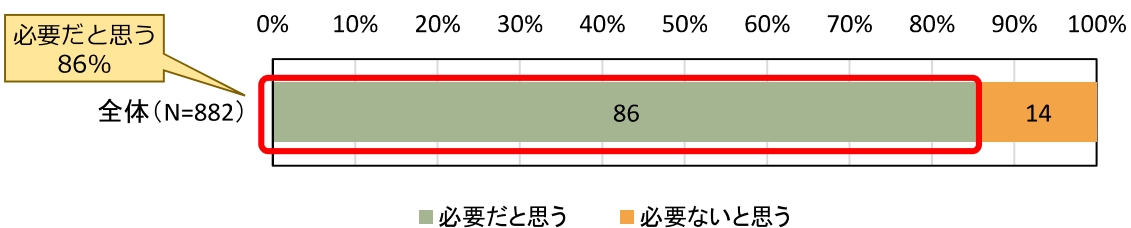
- ・利用したことがある人は、名阪近鉄バスで7%、海津羽島線で2%である。輪之内羽島線では、利用したことがない人が大部分を占める。



羽島市の公共交通の維持

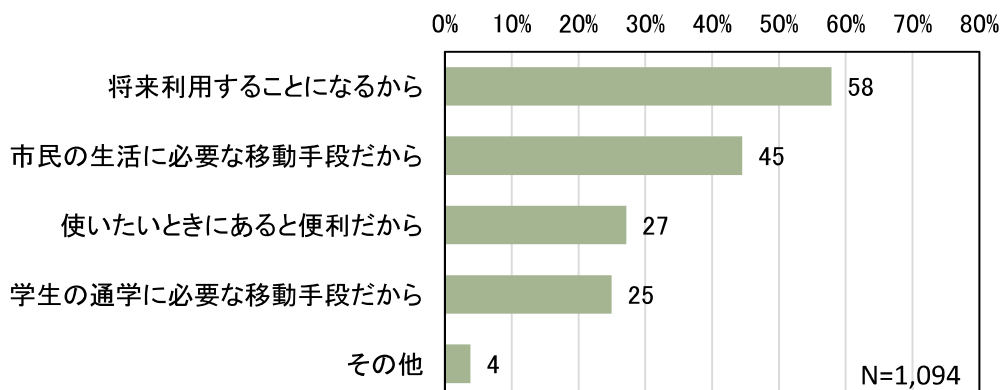
公共交通の必要性 羽島市にコミュニティバスは必要だと思いますか？

- ・86%がコミュニティバスは必要であると回答している。



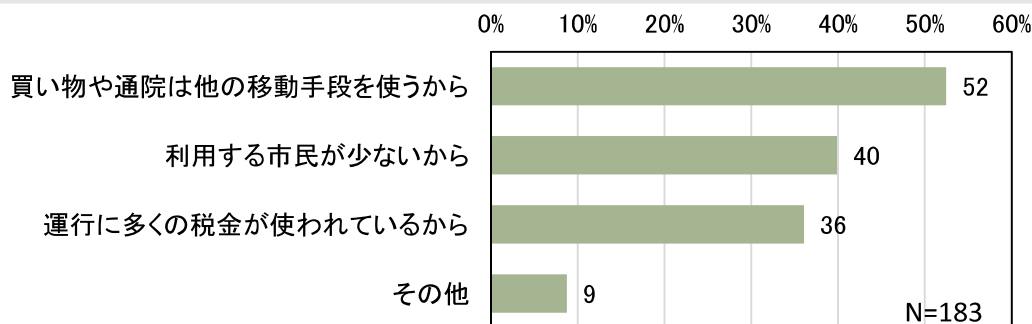
必要だと思う理由 (複数回答可)

- ・「将来利用することになるから」が最も多く58%を占め、次いで「市民の生活に必要な移動手段だから」が45%となっている。



必要ないと思う理由（複数回答可）

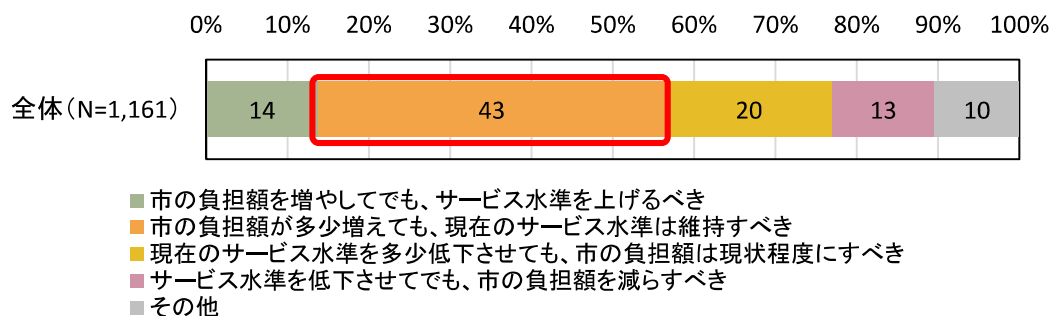
- ・「買い物や通院は他の移動手段を使うから」が最も多く52%を占め、次いで「利用する市民が少ないから」が40%となっている。



サービス水準と費用負担のバランス

羽島市の公共交通のサービス水準と費用負担のバランスについて、あなたの考えをおしえてください。

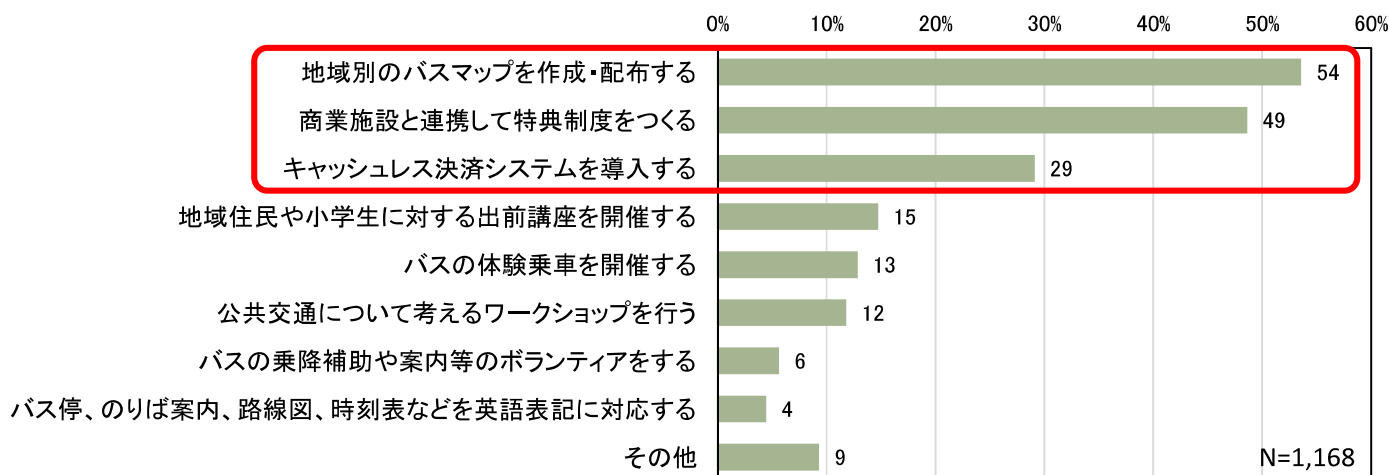
- ・「市の負担額が多少増えても、現在のサービス水準は維持すべき」が最も多く43%を占め、次いで「現在のサービス水準を多少低下させても、市の負担額は現状程度にすべき」が20%となっている。



利用を増やすための施策

コミュニティバスの利用を増やすためには、どんな施策をするのがよいと思いますか？（複数回答可）

- ・「バスマップの作成・配布」が最も多く54%を占め、次いで「商業施設と連携した特典制度の創出」49%、「キャッシュレス決済システムの導入」が29%となっている。

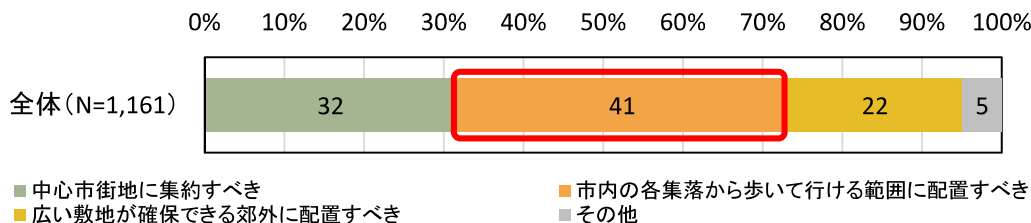


公共交通とまちづくり

公共施設の配置

今後羽島市では、生活に必要な施設（公共施設・商業施設・病院）をどのように配置していくべきだとお考えですか？

- ・「市内の各集落から歩いて行ける範囲に配置すべき」が41%と最も多くなっている。



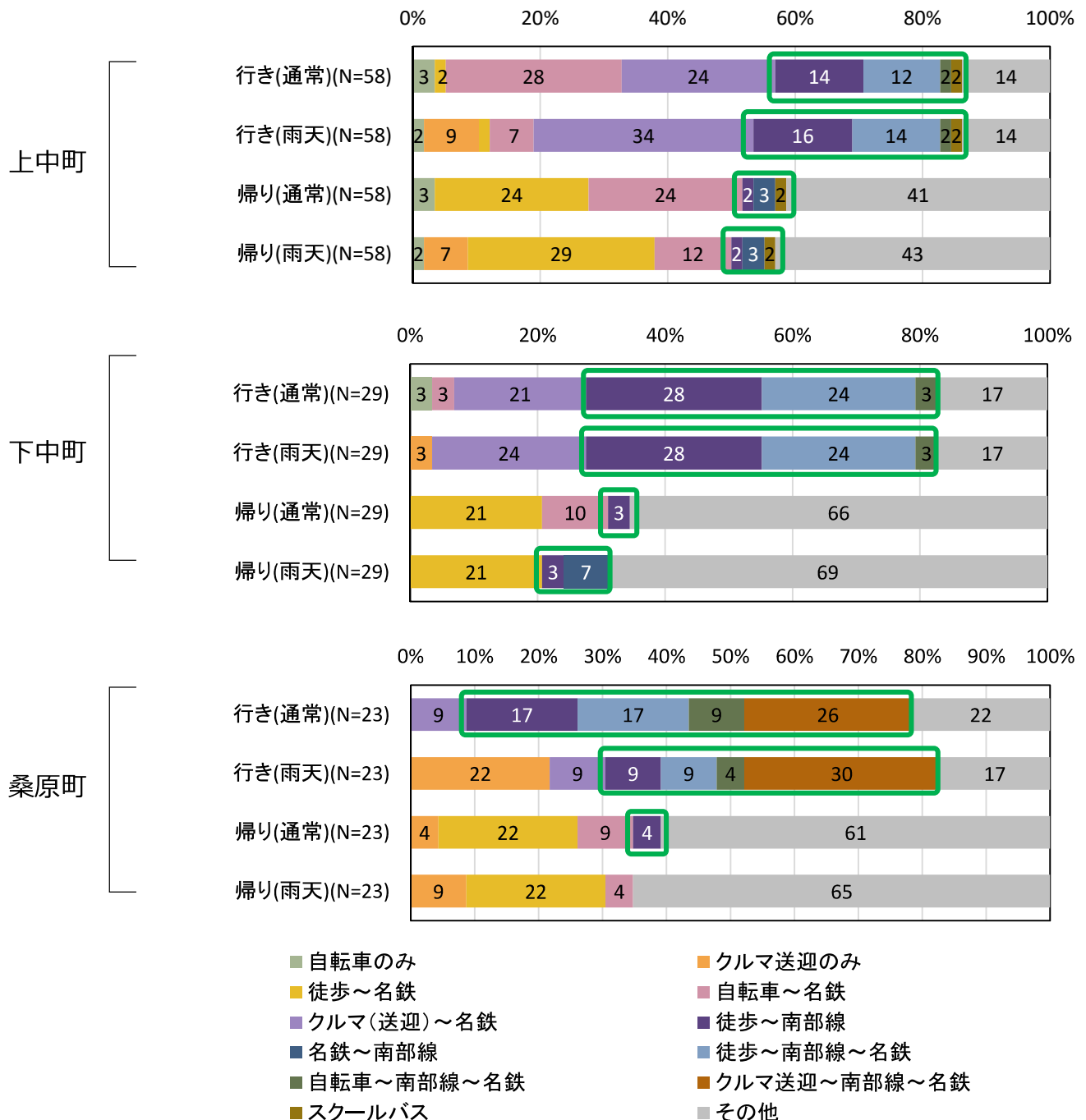
高校生アンケート

- 調査目的 : 南部線沿線高校生の通学実態、南部線の利用意向を把握
- 調査対象 : 上中町・下中町・桑原町に住所がある高校生 270人 (全数)
- 調査方法 : 郵送配布 (令和6年5月22日(水)発送) ・ 郵送回収 (6月21日(金)締切)
- 有効回答数 : 119票 回答率 : 44.1%

通学手段 あなたの普段の通学手段についておしえてください。

- ・南部線の利用について「行き」と「帰り」を比較すると、「行き」の利用が多く、「帰り」の利用が少ない。
- ・通常時を居住地別に見ると、桑原町で、上中町・下中町に比べると南部線の利用が多い。

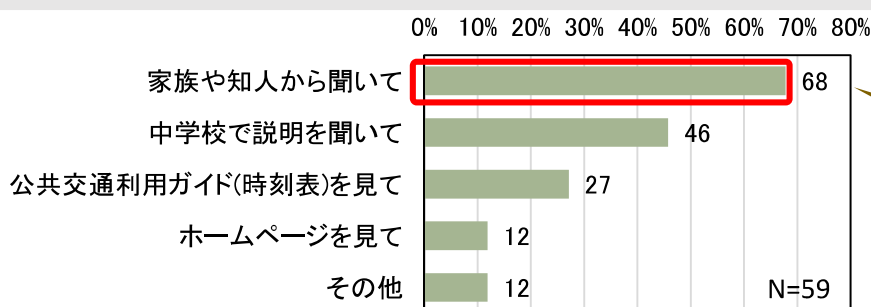
…南部線利用



通学に南部線を利用している方にお聞きします。

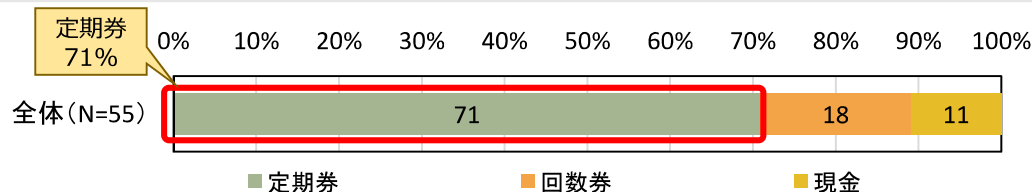
情報入手経路 南部線で通学できることを何で知りましたか？

- ・「家族や知人から聞いて」が68%と突出して多い。



支払方法 どの支払方法で南部線を利用することが多いですか？

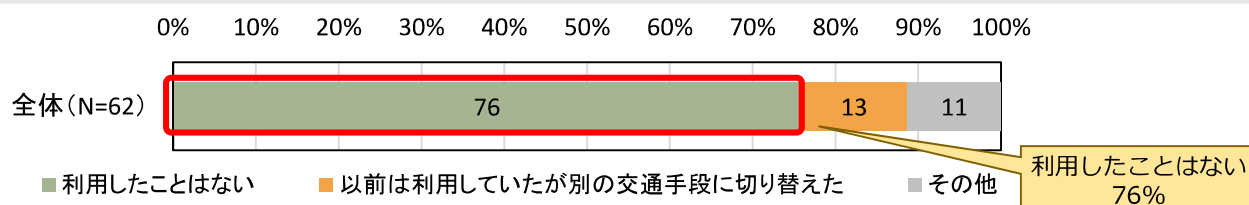
- ・71%が定期券で利用している。



通学に南部線を利用していない方

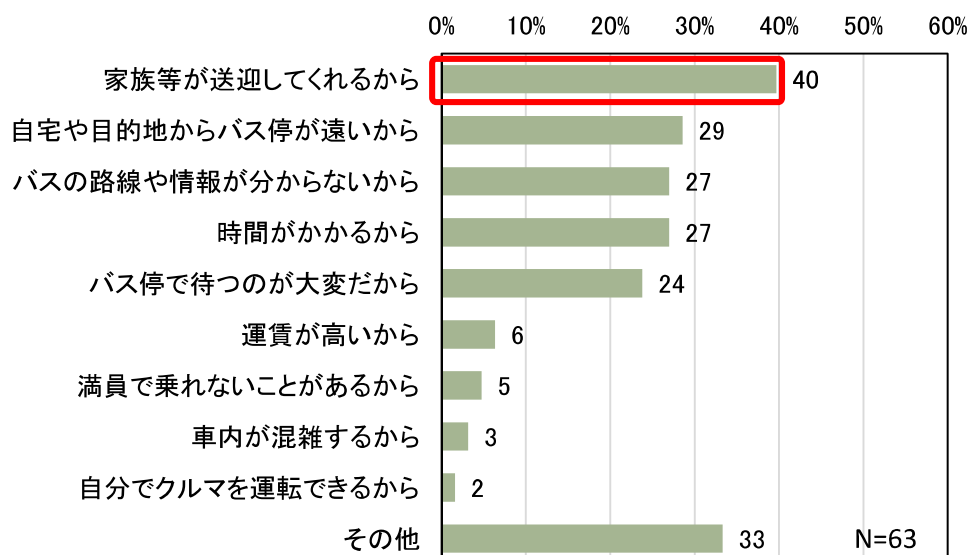
利用経験 南部線を利用して通学したことはありますか？

- ・「利用したことはない」が76%と全体の大部分を占める。



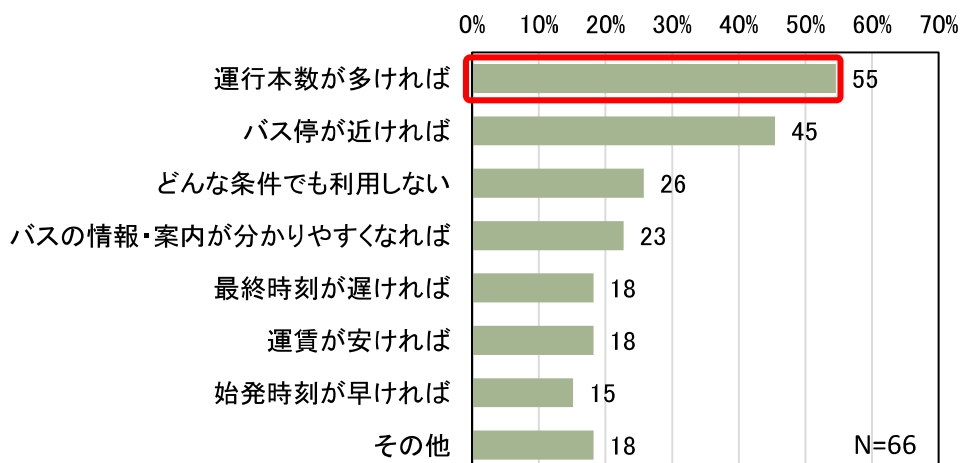
利用しない理由 南部線を利用しない理由、利用をやめた理由は何ですか？

- ・「家族等が送迎してくれるから」が最も多く40%を占め、次いで「自宅や目的地からバス停が遠いから」29%となっている。



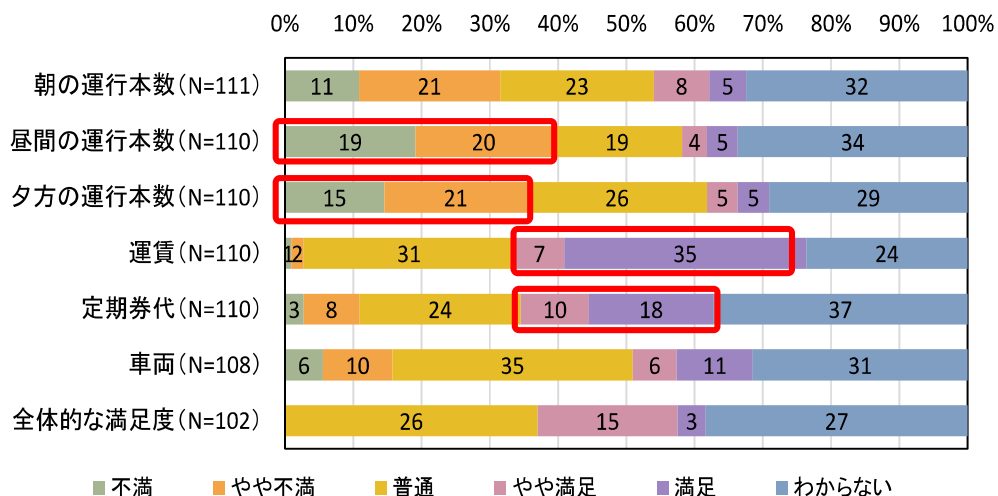
利用条件 条件がどのように変われば、南部線を利用したいと思いますか？

- ・「運行本数が多ければ」が最も多く55%を占め、次いで「バス停が近ければ」45%、「どんな条件でも利用しない」26%となっている。



満足度 南部線の満足度をおしえてください。

- ・総合的な満足度は、全体で「45」であり、令和元年より「8」低くなっている。
- ・「わからない」を除くと、「不満」「やや不満」は「運行本数」が多い傾向にある一方、「満足」「やや満足」は「運賃」が最も高く42%、次いで「定期券代」が28%となっている。



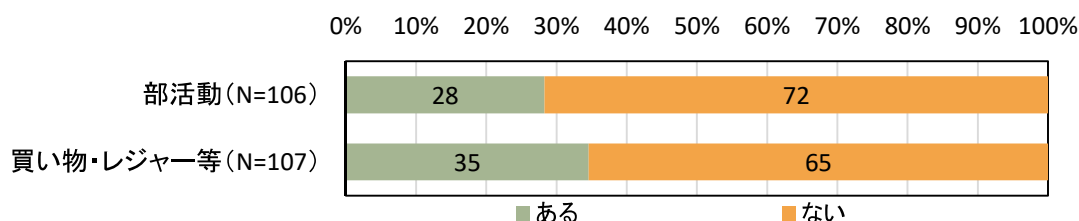
満足度		
全体	利用	非利用
41	43	37
33	32	33
37	40	34
74	78	72
63	72	55
53	54	52
45	46	43

R1アンケート
53

※名鉄竹鼻線・羽島線の満足度と同様の計算式で算出

休日の利用 休日に部活動や買い物・レジャー等で南部線を利用することはありますか。

- ・部活動では28%、買い物・レジャー等では35%が休日にも南部線を利用している。



市民アンケート 調査結果のまとめ

日常生活での移動行動

- ・通勤者の73%が市外へ通勤・通学しており、市外への移動ニーズが大きい。
- ・買い物・通院・公共施設の移動手段は、クルマが多く用いられている。
- ・新型コロナ前後での外出頻度が変化した人は少ない。

はしまわる線

- ・はしまわる線を利用しない理由としては、「自分でクルマを運転できるから」が突出して多い。
- ・はしまわる線の利用者は、時間が合わない等の理由で、片道みの利用が多い。
- ・はしまわる線の非利用者の78%は運行ルートを認知していない。
- ・運行頻度に対する満足度が低い。

南部線

- ・通勤・通学での利用が多い。
- ・南部線を利用しない理由としては、「自分でクルマを運転できるから」が突出して多い。
- ・運行頻度に対する満足度が低い。

JR岐阜羽島駅

- ・駅までの交通手段としてクルマが79%を占め、公共交通での移動は少ない。

公共交通の必要性

- ・86%の市民がコミュニティバスは必要であると考えている。
- ・57%の市民が現状以上のサービスを維持すべきと考えている。

まちづくり

- ・生活に必要な施設配置について、73%は「中心市街地に集約すべき」、「各町から歩いて行ける範囲に配置すべき」と回答しており、集約型の施設配置が求められている。

高校生アンケート 調査結果のまとめ

- ・各地域ともに、行きのみ南部線を利用し、帰りは車の送迎や名鉄を利用する高校生が多い。
- ・通学に南部線を利用しない理由としては、40%が「家族等が送迎してくれるから」と回答しており、送迎への依存が強いと考えられる。
- ・南部線利用者・非利用者ともに、南部線の運行本数に対する満足度が低い。
- ・休日も高校生の一定利用がみられる。